

高速の快適さを決める7つ・・・試乗に持って行く1枚

高速比率が3割を超える人は、この7つが車選びの中心になります。店の周りを一周する試乗では、7つのうち5つが判定できません。

「高速に乗るコースで試乗させてもらえますか」と頼んでください。
断られることもあります。聞く価値はあります。

#	決めるもの 何が効いているか	なぜ効くのか 仕組み	カタログで見るところ 数字で分かる部分	試乗で確かめる方法 体で分かる部分	影響の 大きさ
1	大きさと重さ ホイールベース＝前後タイヤの間隔	前後のタイヤの間隔が長いほど直進が安定する。重い車は路面の凹凸に揺さぶられにくい	主要諸元のホイールベース、全長、車両重量	継ぎ目や轍でハンドルが取られないか。手を軽く添えたまま走れるか	大きい
2	力の余裕 合流・追い越し・登り坂	余裕がないと、合流や追い越しでアクセルを深く踏むことになり、音も燃費も悪化する	最高出力と最大トルク。ただし 車両重量とセット で見る	できれば人を乗せた状態で登り坂を走る。エアコンを入れて走る	大きい
3	静かさ ロードノイズ・風切り音	高速で疲れる最大の原因。タイヤが路面をたたく音、風の音、エンジンの回転音が重なる	数字では出にくい。遮音材の量は価格帯にわりと比例する	同乗者とふつうの声で会話できるか。音楽を消して走ってみる	大きい
4	シートと座り姿勢 2時間後の腰で分かる	背もたれの角度、太ももを支える長さ、腰の支え。長距離の疲れはほぼここで決まる	シートの調整範囲、電動か手動か、ランバーサポートの有無	いつも運転する姿勢に調整してから走る 。展示車で10分座るだけでも分かる	大きい
5	運転支援 車間を保つ機能が要	前の車との距離を保って速度を自動調整する機能は、高速でいちばん効く。渋滞でも操作が減る	全車速で使えるか、車線の中央を保つ機能が付くか、グレードによる差	実際に作動させてみる。加減速の感じが自分に合うか	大きい
6	燃費の得意領域 動かし方で変わる	ハイブリッドは街乗りで効き高速では差が縮まる。ディーゼルは一定速度が得意。EVは高速で消費が増える	高速道路の燃費（WLTCの高速道路モード）を見る。市街地モードとの差に注目	実際の燃費計を見ながら走る。街乗りとの差を体感する	中くらい
7	横風とふらつき 背の高い車の宿命	橋の上やトンネルの出口で横風を受けやすい。背が高く軽い車ほど揺さぶられる	全高と車両重量。背が高く軽い車は要注意	風の強い日に試乗できると理想。橋やトンネルのあるコースを頼む	中くらい

🏆 店の周りだけでは分からないもの

7つのうち、街中の短い試乗で判定できるのは4番（シート）と、かろうじて2番（力）だけです。

- 1・3・5・6・7は、高速を走らないと分からない
- だから「高速を含むコースで試乗したい」と頼む価値がある

💡 数字は重量とセットで見る

馬力の数字だけを見ても、力の余裕は分かりません。同じ出力でも、重い車と軽い車ではまったくちがいます。人と荷物を積みばさらに変わります。

⚠️ 高速に乗らない人は、ここに払わない

高速の比率が1割以下なら、この7つのためにお金を払う必要はありません。小回りと駐車のしやすさ、街乗りの燃費のほうが、あなたの毎日には効きます。